

平成29年6月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成29年5月1日

上場会社名 株式会社マクロミル 上場取引所 東  
 コード番号 3978 URL http://www.macromill.com  
 代表者 (役職名) 代表執行役グローバルCEO (氏名) スコット・アーンスト  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役グローバルCFO (氏名) 城戸輝昭 TEL 03 (6716) 0706  
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成29年6月期第3四半期の連結業績（平成28年7月1日～平成29年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する 四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第3四半期	27,365	9.1	5,853	11.5	4,890	35.6	3,400	32.9	2,956	31.0	3,622	74.4
28年6月期第3四半期	25,090	—	5,247	—	3,606	—	2,558	—	2,257	—	2,077	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第3四半期	77.92	77.90
28年6月期第3四半期	59.64	59.64

（参考）

	EBITDA		調整後EBITDA		調整後EBITDA マージン		調整後親会社の 所有者に帰属する 四半期利益		調整後基本的 1株当たり 四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	%	%	百万円	%	円	%
29年6月期第3四半期	6,491	10.0	7,309	17.1	26.7	7.2	3,574	28.5	94.21	28.2
28年6月期第3四半期	5,901	—	6,244	—	24.9	—	2,781	—	73.47	—

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
29年6月期第3四半期	69,593	21,417	19,493	28.0
28年6月期	66,564	16,647	15,064	22.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	—	—	0.00	0.00
29年6月期	—	0.00	—	—	—
29年6月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想（平成28年7月1日～平成29年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,800	10.1	6,850	19.5	5,792	41.7	4,142	27.9	3,700	30.6	96.95

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年6月期3Q	38,823,400株	28年6月期	37,858,800株
② 期末自己株式数	29年6月期3Q	一株	28年6月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年6月期3Q	37,946,407株	28年6月期3Q	37,858,800株

（注）当社は、平成28年9月30日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 当社グループは、平成28年6月期から国際会計基準（以下、「IFRS」という。）を適用しております。
- (2) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- (3)  $EBITDA = \text{営業利益} + \text{減価償却費} + \text{償却費}$
- (4)  $\text{調整後EBITDA} = \text{EBITDA} + \text{マネジメントフィー} + \text{上場関連費用} + \text{リファイナンス関連費用} + \text{M\&A関連費用}$
- (5)  $\text{調整後EBITDAマージン} = \text{調整後EBITDA} \div \text{売上収益}$
- (6)  $\text{調整後親会社の所有者に帰属する当期（四半期）利益} = \text{親会社の所有者に帰属する当期（四半期）利益} + \text{マネジメントフィー} + \text{上場関連費用} + \text{リファイナンス関連費用} + \text{M\&A関連費用} - \text{調整項目に係る税金等調整額}$
- (7)  $\text{調整後基本的1株当たり当期（四半期）利益} = \text{調整後親会社の所有者に帰属する当期（四半期）利益} \div \text{期中平均普通株式数}$
- (8) EBITDA、調整後EBITDA、調整後EBITDAマージン、調整後親会社の所有者に帰属する当期（四半期）利益及び調整後基本的1株当たり当期（四半期）利益はIFRSにより規定された指標ではなく、当社グループが、投資家にとって当社グループの業績を評価するために有用であると考えられる財務指標であります。当該財務指標は、上場後には発生しないと見込まれる費用や非経常的損益項目（通常の営業活動の結果を示していると考えられない項目、あるいは同業他社に対する当社グループの業績を適切に示さない項目）の影響を除外しております。
- (9) EBITDA、調整後EBITDA、調整後EBITDAマージン、調整後親会社の所有者に帰属する当期（四半期）利益及び調整後基本的1株当たり当期（四半期）利益は、当期利益に影響を及ぼす項目の一部を除外しており、分析手段としては重要な制限があることから、IFRSに準拠して表示された他の指標の代替的指標として考慮されるべきではありません。当社グループにおけるEBITDA、調整後EBITDA、調整後EBITDAマージン、調整後親会社の所有者に帰属する当期（四半期）利益及び調整後基本的1株当たり当期（四半期）利益は、同業他社の同指標あるいは類似の指標とは算定方法が異なるために、他社における指標とは比較可能でない場合があり、その結果、有用性が減少する可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結損益計算書 .....	5
(3) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	6
(4) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	7
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2016年7月1日～2017年3月31日)における世界経済は、英国におけるEU離脱問題や米国における大統領選挙・政権交代等による不安定要素があったものの、原油価格回復に伴う資源国経済の持ち直しもある等、明確な見通しを持ちにくい状況が続いております。一方で、我が国経済においては、経済政策による円安への転換や株高が進行するなど、将来に向けて緩やかな景気回復基調が持続する状況にあると考えています。

このような経済状況の下で、当社グループは、国内外において多様化が進む顧客ニーズに対応すべく、幅広いマーケティング・リサーチ・サービスのラインナップを拡充しながら、引き続き国内事業の安定的成長の追求、海外事業の基盤強化及び、国内外におけるデジタル・マーケティング分野への注力に取り組んでまいりました。

国内においては、当社単体が前年同期比二桁成長となる過去最高の第3四半期累計売上収益(15,562百万円)を記録しグループ全体を牽引すると共に、他の主要な国内子会社の業績も同様に好推移しました。海外子会社においても、為替の影響を除いた各現地通貨ベースでは引き続き売上収益の前年同期比二桁成長が続いており、当社グループ全体の連結売上収益は堅調に伸長しました。

国内の事業状況としては、企業のデジタル・メディアへの広告出稿拡大等を追い風に、重点戦略商品であるデジタル・マーケティング商材の拡販が広告代理店及びサービス事業者に対して継続していることに加え、グローバル・リサーチ商材の販売が消費財メーカーを中心に、既存商品のオーダーメイド型商材の販売が通信事業者を中心に、それぞれ大きく伸長しました。また海外では特に、グローバル・キー・アカウント(グローバルに事業を展開し、調査・マーケティングにかかる多額の予算を有する顧客企業グループのうち、当社グループのさらなる成長の鍵となる顧客(キー・アカウント)として、グローバルに営業強化の対象としている企業群のこと)に対する売上が堅調に推移しています。

一方で利益面では、継続的に実施している外注費の抑制や人件費抑制の施策がそれぞれ奏功し、営業利益を押し上げる形となりました。また、2016年3月に実施したリファイナンスによる金利引き下げにより、前年同期比で支払利息を中心とした金融費用が大きく減少し、四半期利益の増加に寄与しました。なお、当社は株式公開後、2017年3月末にもリファイナンスを実施しておりますが、その影響は主に第4四半期以降に発現する見込みであり、第3四半期における業績への影響は限定的です。

これらの結果、当第3四半期までの売上収益は27,365百万円(前年同期比109.1%)、営業利益5,853百万円(同111.5%)、税引前四半期利益4,890百万円(同135.6%)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は2,956百万円(同131.0%)となりました。

セグメント業績は以下のとおりです。

## (マクロミルグループ)

マクロミルグループにつきましては、当社単体、国内子会社及び、一部海外子会社、いずれの業績も好調に推移しました。

当社単体を筆頭に売上が大きく伸長したことに加え、コストコントロールも適切に機能したため、グループ全体の売上、営業利益の大幅な拡大を実現しております。

以上の結果、外部顧客に対する当第3四半期までの売上収益は22,112百万円、営業利益は5,198百万円となりました。

## (MetrixLabグループ)

MetrixLabグループにつきましては、引き続き売上拡大の勢いを維持しており、グローバルなFMCG企業を中心とするグローバル・キー・アカウントへの販売や、デジタル・マーケティング関連商材がこれを大きく牽引しています。

費用面においては、欧米におけるオペレーションの生産性改善が続いており、特に人件費率が前年同期と比較して減少しています。

以上の結果、外部顧客に対する当第3四半期までの売上収益は5,252百万円、営業利益は654百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

当第3四半期連結会計期間の資産につきましては、69,593百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,029百万円増加いたしました。これは主に、営業債権及びその他の債権の増加2,014百万円及び、現金及び現金同等物の増加539百万円等があったためであります。

負債につきましては、48,175百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,740百万円減少しております。これは主に、営業債務及びその他の債務の増加608百万円、未払法人所得税等の増加313百万円がありましたが、借入金の減少2,544百万円等の減少要因があったためであります。

資本につきましては、21,417百万円となり、前連結会計年度に比べ4,770百万円増加いたしました。これは主に、四半期利益3,400百万円の発生及び新株の発行1,149百万円があったためであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ539百万円増加し、6,663百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、3,385百万円（前年同期比932百万円増）となりました。

これは主に、税引前四半期利益4,890百万円、減価償却費638百万円がありましたが、利息の支払額1,114百万円、営業債権及びその他債権の増加1,886百万円等があったためです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、986百万円（前年同期は274百万円の獲得）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出299百万円、無形資産の取得による支出395百万円等があったためです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は1,914百万円（前年同期比3,674百万円減）となりました。

これは主に、新株の発行による収入1,149百万円がありましたが、長期借入金の返済による支出3,135百万円があったためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

前述(1)に記載の2017年3月に実施したリファイナンスによる影響も含めて、現時点において、2017年2月8日に公表しました2017年6月期の業績予想に変更はありません。

また、業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2016年6月30日)	当第3四半期 連結会計期間 (2017年3月31日)
<b>資産</b>		
流動資産		
現金及び現金同等物	6,124,093	6,663,901
営業債権及びその他の債権	6,015,064	8,029,631
その他の金融資産	46,903	143,136
その他の流動資産	539,143	491,713
流動資産合計	12,725,205	15,328,383
非流動資産		
有形固定資産	979,835	949,761
のれん	45,290,325	45,603,611
その他の無形資産	5,498,324	5,692,664
持分法で会計処理されている投資	22,720	29,441
その他の金融資産	880,251	1,253,073
繰延税金資産	1,167,494	736,417
その他の非流動資産	481	444
非流動資産合計	53,839,433	54,265,414
資産合計	66,564,638	69,593,797
<b>負債及び資本</b>		
負債		
流動負債		
借入金	3,319,498	2,842,815
営業債務及びその他の債務	2,492,575	3,101,253
その他の金融負債	252,887	48,938
未払法人所得税等	252,086	565,137
引当金	921,312	911,895
その他の流動負債	1,609,868	1,753,304
流動負債合計	8,848,228	9,223,346
非流動負債		
借入金	38,535,461	36,467,819
その他の金融負債	754,011	860,925
退職給付に係る負債	355,985	229,462
引当金	179,349	181,167
繰延税金負債	1,185,319	1,147,382
その他の非流動負債	58,427	65,819
非流動負債合計	41,068,555	38,952,577
負債合計	49,916,784	48,175,923
資本		
資本金	100,000	674,751
資本剰余金	17,813,906	11,092,674
その他の資本の構成要素	△387,657	△157,984
利益剰余金	△2,461,798	7,883,628
親会社の所有者に帰属する持分合計	15,064,450	19,493,070
非支配持分	1,583,403	1,924,804
資本合計	16,647,854	21,417,874
負債及び資本合計	66,564,638	69,593,797

## (2) 要約四半期連結損益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年7月1日 至 2016年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年7月1日 至 2017年3月31日)
売上収益	25,090,306	27,365,677
売上原価	△13,661,129	△14,133,110
売上総利益	11,429,176	13,232,567
販売費及び一般管理費	△6,408,894	△7,616,631
その他の営業収益	271,870	250,172
その他の営業費用	△49,279	△19,142
持分法による投資利益	4,742	6,078
営業利益	5,247,615	5,853,044
金融収益	264,436	7,184
金融費用	△1,905,643	△969,631
税引前四半期利益	3,606,409	4,890,597
法人所得税費用	△1,048,138	△1,490,249
四半期利益	2,558,270	3,400,348
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	2,257,811	2,956,716
非支配持分	300,458	443,631
四半期利益	2,558,270	3,400,348
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	59.64	77.92
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	59.64	77.90

(3) 要約四半期連結包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年7月1日 至 2016年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年7月1日 至 2017年3月31日)
四半期利益	2,558,270	3,400,348
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△36,585	82,651
純損益に振り替えられることのない項目合計	△36,585	82,651
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△444,612	139,256
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△444,612	139,256
税引後その他の包括利益	△481,197	221,907
四半期包括利益	2,077,072	3,622,256
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,885,024	3,135,547
非支配持分	192,048	486,708
四半期包括利益	2,077,072	3,622,256

(4) 要約四半期連結持分変動計算書  
前第3四半期連結累計期間

## 親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素				
	資本金	資本剰余金	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産	確定給付制 度の再測定	在外営業活 動体の換算 差額
2015年7月1日時点の残高	9,393,120	8,431,504	15,536	—	187,074
四半期利益	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	△18,962	—	△353,825
四半期包括利益合計	—	—	△18,962	—	△353,825
所有者による労務拠出	—	75,000	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	—	—	—	—
非支配持分に対する配当金	—	—	—	—	—
子会社に対する所有持分の変動	—	2,200	—	—	—
所有者との取引額合計	—	77,200	—	—	—
2016年3月31日時点の残高	9,393,120	8,508,705	△3,425	—	△166,751

## 親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	非支配持分	合計
	新株予約権	合計				
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
2015年7月1日時点の残高	104,280	306,891	△5,260,512	12,871,005	1,447,553	14,318,558
四半期利益	—	—	2,257,811	2,257,811	300,458	2,558,270
その他の包括利益	—	△372,787	—	△372,787	△108,410	△481,197
四半期包括利益合計	—	△372,787	2,257,811	1,885,024	192,048	2,077,072
所有者による労務拠出	—	—	—	75,000	—	75,000
株式に基づく報酬取引	△1,089	△1,089	—	△1,089	—	△1,089
非支配持分に対する配当金	—	—	—	—	△52,824	△52,824
子会社に対する所有持分の変動	—	—	—	2,200	3,875	6,076
所有者との取引額合計	△1,089	△1,089	—	76,110	△48,948	27,161
2016年3月31日時点の残高	103,190	△66,985	△3,002,700	14,832,140	1,590,653	16,422,793

## 当第3四半期連結累計期間

## 親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素				
	資本金	資本剰余金	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産	確定給付制 度の再測定	在外営業活 動体の換算 差額
	千円	千円	千円	千円	千円
2016年7月1日時点の残高	100,000	17,813,906	212	—	△517,839
四半期利益	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	43,296	—	135,534
四半期包括利益合計	—	—	43,296	—	135,534
新株の発行	574,751	647,625	—	—	—
所有者による労務抛出等	—	850,000	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	—	—	—	—
非支配持分に対する配当金	—	—	—	—	—
非支配持分との取引	—	△831,287	—	—	—
資本剰余金から利益剰余金への 振替	—	△7,388,710	—	—	—
子会社に対する所有持分の変動	—	1,139	—	—	—
所有者との取引額合計	574,751	△6,721,232	—	—	—
2017年3月31日時点の残高	674,751	11,092,674	43,508	—	△382,305

## 親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素				非支配持分	合計
	新株予約権		利益剰余金	合計		
	千円	千円	千円	千円		
2016年7月1日時点の残高	129,968	△387,657	△2,461,798	15,064,450	1,583,403	16,647,854
四半期利益	—	—	2,956,716	2,956,716	443,631	3,400,348
その他の包括利益	—	178,830	—	178,830	43,077	221,907
四半期包括利益合計	—	178,830	2,956,716	3,135,547	486,708	3,622,256
新株の発行	△72,874	△72,874	—	1,149,503	—	1,149,503
所有者による労務抛出等	—	—	—	850,000	—	850,000
株式に基づく報酬取引	123,716	123,716	—	123,716	—	123,716
非支配持分に対する配当金	—	—	—	—	△105,648	△105,648
非支配持分との取引	—	—	—	△831,287	—	△831,287
資本剰余金から利益剰余金への 振替	—	—	7,388,710	—	—	—
子会社に対する所有持分の変動	—	—	—	1,139	△39,659	△38,519
所有者との取引額合計	50,842	50,842	7,388,710	1,293,072	△145,307	1,147,764
2017年3月31日時点の残高	180,811	△157,984	7,883,628	19,493,070	1,924,804	21,417,874

## (5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年7月1日 至 2016年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年7月1日 至 2017年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	3,606,409	4,890,597
減価償却費及び償却費	653,415	638,540
金融収益	△264,436	△7,184
金融費用	1,905,643	969,631
持分法による投資損益(△は益)	△4,742	△6,078
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△1,934,572	△1,886,389
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	279,914	751,169
その他	57,455	△204,926
小計	4,299,085	5,145,360
利息及び配当金の受取額	31,936	8,762
利息の支払額	△1,383,603	△1,114,654
法人所得税の支払額	△494,327	△654,156
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,453,090	3,385,312
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△202,540	△299,583
無形資産の取得による支出	△268,319	△395,685
投資の取得による支出	△11,608	△122,370
投資の売却、償還による収入	827,482	52,441
その他	△70,057	△221,191
投資活動によるキャッシュ・フロー	274,955	△986,388
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	230,353
長期借入れによる収入	42,734,638	2,206
長期借入金の返済による支出	△48,258,174	△3,135,258
新株の発行による収入	—	1,149,503
非支配持分への配当金支払額	△52,824	△105,648
その他	△12,280	△55,261
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,588,640	△1,914,104
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,860,594	484,818
現金及び現金同等物の期首残高	7,178,730	6,124,093
現金及び現金同等物に係る換算差額	△96,739	54,989
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,221,396	6,663,901

## (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは、全世界規模でのオンライン・マーケティング・リサーチを主たる事業内容としております。したがって、当社グループは、企業集団を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、日本を主に統括している「マクロミルグループ」、海外を主に統括している「MetrixLabグループ」の2つを報告セグメントとしております。

「マクロミルグループ」は、当社、株式会社電通マクロミルインサイト等の子会社で構成されております。

「MetrixLabグループ」は、MetrixLab B.V.、MetrixLab US, Inc.等の子会社で構成されております。

## (2) セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりであります。なお、MetrixLabグループの収益及び業績についてはユーロ建てで管理しておりますが、前第3四半期連結累計期間につきましては1ユーロ132.1円で、当第3四半期連結累計期間につきましては1ユーロ117.7円で換算しております。

前第3四半期連結累計期間(自 2015年7月1日 至 2016年3月31日)

	報告セグメント			調整額	連結
	マクロミル グループ	MetrixLab グループ	計		
	千円	千円	千円		
売上収益					
外部収益	19,878,400	5,211,906	25,090,306	—	25,090,306
セグメント間収益	9,155	93,117	102,273	△102,273	—
合計	19,887,556	5,305,024	25,192,580	△102,273	25,090,306
セグメント利益 (営業利益)	4,591,872	655,743	5,247,615	—	5,247,615
金融収益					264,436
金融費用					△1,905,643
税引前四半期利益					3,606,409

当第3四半期連結累計期間(自 2016年7月1日 至 2017年3月31日)

	報告セグメント			調整額	連結
	マクロミル グループ	MetrixLab グループ	計		
	千円	千円	千円		
売上収益					
外部収益	22,112,997	5,252,680	27,365,677	—	27,365,677
セグメント間収益	15,924	131,196	147,121	△147,121	—
合計	22,128,922	5,383,876	27,512,799	△147,121	27,365,677
セグメント利益 (営業利益)	5,198,650	654,394	5,853,044	—	5,853,044
金融収益					7,184
金融費用					△969,631
税引前四半期利益					4,890,597